

Drogger GPS に係るアプリのセットアップ方法

2023 年 3 月

一般社団法人 日本松保護士会

1. Drogger GPS を Android のスマートフォンまたはタブレット端末にインストールする(図 1) Android はバージョン 5.0 以上の Bluetooth と Wi-Fi を備えたモデルでインストール可能。なお iOS には非対応。



(図 1)

2. インストールした端末を開発者モードにする。
端末の設定⇒デバイス情報 (端末情報) ⇒ビルド番号を 7 回タップすると『これでデベロッパーになりました』のメッセージが表示される。既に開発者モードになっている場合は『開発者向けオプションが既に有効です』のメッセージが表示(図 2)。



(図 2)

3. 設定⇒システム⇒開発者向けオプション⇒仮の現在地情報アプリを選択⇒DroggerGPS を選択⇒戻ると、仮の現在地情報アプリ : DroggerGPS と表示されている。(図 3)



(図 3)

4. DG-PRO1RWS を起動させ Bluetooth ペアリングをする。
 DG-PRO1RWS 本体とアンテナ、モバイルバッテリーを接続させ電源を入れる。アンテナは DG-PRO1RWS 購入時に付属しているアンテナでも可能。本事業では受信精度を上げるため別売りのアンテナを使用している(図4)。
 なお基準局と移動局の両方使う場合は各2セット必要になる。



(図4)

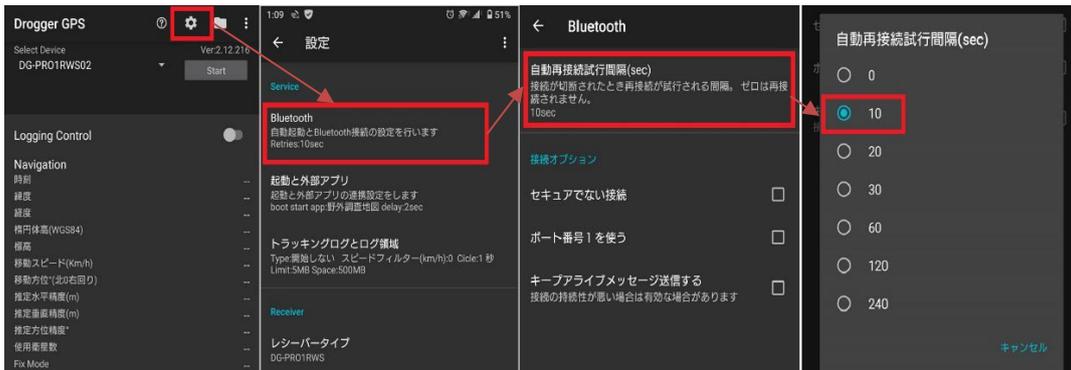
設定 ➡ 端末の機器接続 (Bluetooth) ➡ 新しい機器とペア設定をする ➡ DG-PRO1RWS が表示されているので選択する (図5)



(図5)

5. Drogger-GPS の設定 (移動局として設定)。Drogger-GPS アプリを開く ➡ 『この端末の位置情報へのアクセスを許可しますか?』等の項目は全て『はい』を選択。項目が出なければそのまま6へ進む。

6. 設定 (歯車マーク) ⇒Bluetooth⇒自動再接続試行間隔(sec)⇒10 を選択 (図 6)



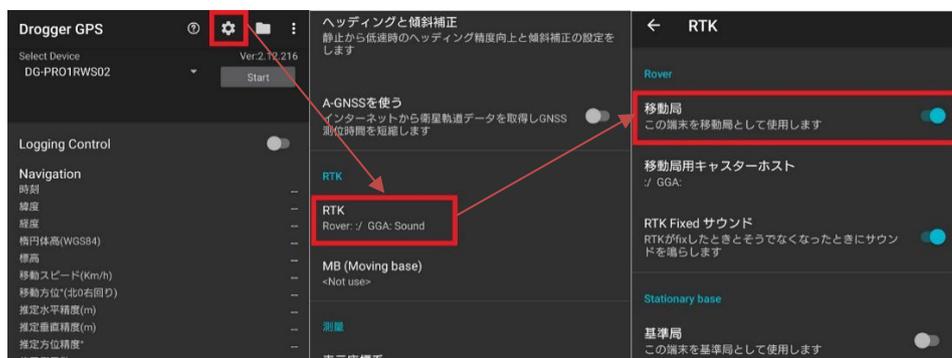
(図 6)

7. 設定⇒起動と外部アプリ⇒Bluetooth 接続後に起動するアプリ⇒野外調査地図 (予めアプリのインストールが必要) を選択 (図 7)



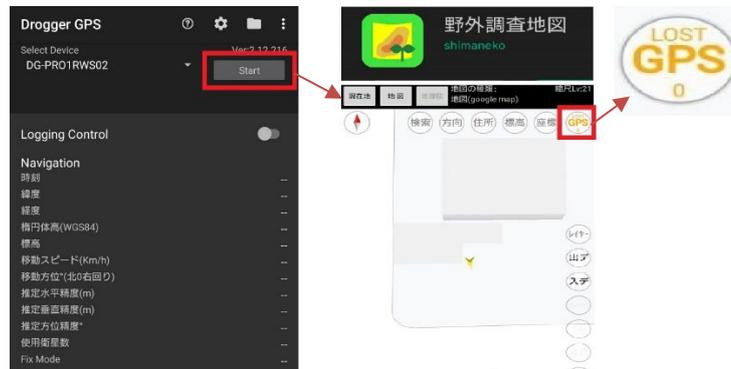
(図 7)

8. 設定⇒RTK⇒移動局にチェックを入れる (図 8)



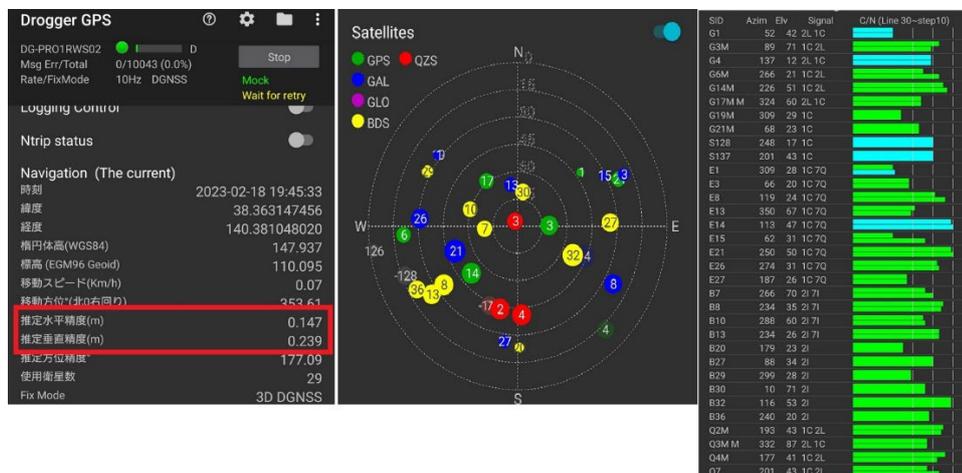
(図 8)

9. ホームに戻り Start ➡ 接続が完了すると自動的に野外調査地図アプリが開く。
DG-PRO1RWS で GNSS 測位を行っているため、野外調査地図アプリ上の GPS は 0 と表示される (図 9)



(図 9)

10. 接続が完了すれば Drogger-GPS アプリは閉じて問題ないが、接続中の Drogger-GPS ホーム画面上では下記のような情報を確認することが出来る。
推定水平精度(m)・推定垂直精度(m)は数値が小さい程精度が高い。
衛星画面では米国の GPS(ジーピーエス)・ロシアの GLONASS(グロナス)・EU の Galileo(ガリレオ)・日本の QZSS(みちびき)・中国の BeiDou(ベイドウ)の受信状況・受信数の確認が出来る (図 10)



(図 10)

11. 一度設定が完了すれば、次回からは DG-PRO1RWS をセッティングした後 Drogger-GPS を起動させホーム画面の Start を押せばすぐに接続できるようになる。

※ 使用する端末により設定の表示が違う場合があります。予めご了承ください。

◎このマニュアルは、令和 2～4 年度林野庁「森林病虫害等被害対策強化・促進事業」において、一般社団法人日本松保護士会が実施主体となり、作成したものです。